

変わりゆく 社会の中で 「人を支える 普遍の想い」

第13回 一般社団法人 日本がん相談研究会年次大会

大会長 岸田 さな江 獨協医科大学病院

副大会長 福島 美幸 四国がんセンター

第1日目 2025年3月1日(土) 17:30-18:30

年次大会 プレセミナー (web 開催)

※チケット購入者限定アーカイブ配信予定(視聴期間限定)

第2日目 2025年3月2日(日)

10:00-16:30

会場：聖路加国際病院 旧館5階 研修室A

プレセミナーでは、人を支えるという共通点がありますが、がん相談員とは異なるお立場の講師に「人とのかかわりや経験・体験、生活環境、生活歴、人の死、宗教」などの要素も含め、対象者への支援を行うことの普遍性と変化に関して、皆で学ぶ機会を準備しました。

翌日の年次大会テーマ『発展し続けるがん相談の未来～社会の変化への対応とかわらないがん相談員の技(マインド)』に繋がる時間となりましたら幸いです。

講師

玉置 妙憂 先生 (たまおき みょうゆう)

(看護師・僧侶・スピリチュアルケア師・ケアマジャー・
看護教員非営利一般社団法人大慈学苑代表・日本スピリ
チュアルケア学会理事・日本スピリチュアルケア実践協会
代表)



大慈学苑公式HPより引用



年次大会の詳細はこちら

お申し込み

(一社) 日本がん相談研究会ウェブページの専用フォーム またはPeatixより

お申し込みください URL: <https://jsisc-13pre.peatix.com/>

参加費：会員：1,000 円 非会員：1,500 円



発展しつづける がん相談の未来

～社会の変化への対応と

かわらないがん相談員の技～
マインド

対象

がん相談に携わる方
これから携わる方

大会長 岸田 さな江 獨協医科大学病院 副大会長 福島 美幸 四国がんセンター

年次大会 プレセミナー (web 開催) 講師：玉置 妙憂 看護師・チャプレン・僧侶

2025年3月1日(土) 17:30-18:30 【 変わりゆく社会の中で「人を支える普遍の想い」 】
(参加費) 会員 1,000 円 / 非会員 1,500 円



3/1 (土) プレセミナーの詳細・お申し込みはこちらから

年次大会

2025年3月2日(日) 10:00-16:30

(参加費) 会員 4,000 円 / 非会員 6,000 円

プレセミナー・年次大会それぞれ申込が必要です

【申込締切】

2025年2月28日(金) 17:00

プログラム

1 基調講演 講師：福地 智巴 静岡県立静岡がんセンター / MSW
Maggie's 東京 / 心理士

「がん医療の変遷とともに 相談支援のシンカ（深化・新化・進化）を考える」

2 シンポジウム

～社会の変化への対応と、かわらないがん相談員の技（マインド）を未来に紡ぐ～

3 一般演題

4 教育講演 講師：東 尚弘 東京大学大学院 医学系研究科 公衆衛生学分野 教授
「対話型 AI とがん相談」 part II

年次大会のお申し込み ※下記のURL、右の二次元コードからも入れます

(一社) 日本がん相談研究会ウェブページの専用フォームよりお申し込みください

URL: <https://peatix.com/event/4228017>

問い合わせ先：一般社団法人 学会支援機構内 一般社団法人 日本がん相談研究会
事務局 E-mail: gansoudan@asas-mail.jp / Tel 03-5981-6011



第13回日本がん相談年次大会プログラム プレセミナー（オンライン）

2025.3.1（土）17:30-18:30（17:15 入室開始）

プレセミナー

17：30-18：30

「変わりゆく社会の中で『人を支える普遍の想い』」

演者 玉置 妙憂（看護師・チャプレン・僧侶）

司会 山田 麻記子（東京科学大学病院）

第13回日本がん相談年次大会プログラム

2025.3.2 (日) 10:00-16:30 (9:00 開場) 聖路加国際病院 旧館5階 研修室 A

総合司会：品田 雄市 (東京医科大学八王子医療センター)

開会のあいさつ 岸田 さな江 (獨協医科大学病院) 10:00-10:05

基調講演 10:05-11:05

「がん治療の変遷とともに 相談支援のシンカ (深化・新化・進化) を考える」

福地 智巴 (静岡県立がんセンター /Maggie's 東京)

座長 岸田 さな江 (獨協医科大学病院)

シンポジウム 11:05-12:25

「社会の変化への対応と、かわらないがん相談員の技 (マインド) を未来に紡ぐ」

シンポジスト 前田英武 (高知大学医学部附属病院)

櫻井 史子 (独立行政法人 国立病院機構 高崎総合医療センター)

福島 美幸 (四国がんセンター)

田中 結美 (京都第一赤十字病院)

座長 関根 知嘉子 (独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター)

岸田 さな江 (獨協医科大学病院)

昼食 (総会) 12:25-13:45

一般演題 13:45-15:40

座長：第1部 藤松 義人 (鳥取県立中央病院)

三木 晃子 (大阪公立大学大学院)

第2部 酒見 惇子 (神戸大学医学部附属病院)

平野 香純 (国立大学法人筑波大学附属病院)

休憩 15:40-15:50

教育講演 15:50-16:20

「対話型 AI とがん相談」 part II

東 尚弘 (東京大学大学院 医学系研究科 公衆衛生学分野 教授)

座長 久住 真有美 (慶應義塾大学病院)

閉会式 次期大会長あいさつ 福島 美幸 (四国がんセンター) 16:20-16:30

一般演題

一部

座長 藤松 義人 鳥取県立中央病院
 三木 晃子 大阪公立大学大学院

1. がん専門相談員の初期研修の提供機会拡大の試み：研修提供効果の 定量的評価
小郷 祐子 国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策研究所
2. がん専門相談員の初期研修の提供機会拡大の試み：研修提供効果の 定性的評価
齋藤 弓子 国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策研究所
3. がん相談の倫理とは何か―「北関東甲信越相談支援フォーラム in 栃木」を振り返って―
水野 恵美 那須赤十字病院がん相談支援センター
4. がん相談支援センターの周知度向上への継続した取り組み
吉田 優子 日本大学医学部附属板橋病院がん相談支援センター
5. 東京都「AYA 世代がん相談情報センター」の活動報告
橋本 久美子 聖路加国際病院 相談支援センター / AYA サバイバーシップセンター
6. 脳腫瘍患者の就労支援に関する取り組み ～就労支援ガイドブックの作成・活用・考察～
久住 真有美 慶應義塾大学病院医療連携推進部／がん相談支援センター

二部

座長 平野 香純 国立大学法人筑波大学附属病院がん相談支援センター
 酒見 淳子 神戸大学医学部附属病院がん相談支援センター

7. がん専門相談員が実践する効果的なコミュニケーションに関する検討
―チャット相談における情報提供・相談支援に焦点を当てて―
櫻井 雅代 国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策研究所
8. がん遺伝子パネル検査に伴う病院損失を防ぐためのシステム構築
- 簡易スクリーニングと電子カルテ共有ネットワークの活用 -
藤松 義人 鳥取県立中央病院がん相談支援センター
9. 新型コロナウイルス感染症 5 類移行前後のがん相談の動向と今後の課題
北川 善子 国立病院機構九州がんセンターがん相談支援センター
10. がん相談支援センター企画・運営による
がんサバイバーのためのサポートグループに関する活動報告
～ COVID-19 流行に伴う休止後の取り組み～
宮城 八重子 がん研究会有明病院がん相談支援センター
11. がん患者および市民の HPV に関連した情報ニーズの実態
宮本 紗代 国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策研究所